

全鍍連経営委員会人材育成事業－「先輩経営者との意見交換会」を開催

フジコー(株)代表取締役会長藤井氏による講演会に全国から若手経営者 25 名が集まる

全鍍連経営委員会主催の「先輩経営者との意見交換会」は、めっき業界における先輩経営者を講師としてお迎えし、次世代のめっき業界を担う若手経営者に対しご講演頂き、講演後ダイレクトに意見交換を行う企画です。第8回目を迎えた今回は、フジコー株式会社代表取締役会長藤井正隆氏（全鍍連顧問／兵庫県鍍金工業組合前理事長）より、約1時間にわたりご講演を頂いた後、参加者との活発な意見交換が行われました。



	組合	会社名	氏名	役職
講師	兵庫	フジコー(株)	藤井 正隆	代表取締役会長
	兵庫	フジコー(株)	藤井 茂樹	代表取締役社長
	兵庫	フジコー(株)	藤居 和正	総務部長
1	東北・北海道	ジャスト(株)	岡崎 淳一	代表取締役
2	群馬	(株)光陽	入江 邦成	常務取締役工場長
3	埼玉	(株)潮工業	饗場 功治	代表取締役
4	千葉	福井電化工業(株)	福井 通人	専務取締役
5	神奈川	(株)薄衣電解工業	大森 薫	取締役
6	東京	(株)梅田製作所	梅田 吉男	専務取締役
7	静岡	旭屋工業(株)	鈴木 孝尚	代表取締役
8	静岡	(株)村松製作所	村松 竜太郎	取締役
9	愛知	太陽電化工業(株)	伊藤 亮	取締役専務
10	愛知	(株)日比野鍍金工業所	岩崎 学	工場長
11	京都	(株)キョークロ	熊崎 純一	次長
12	京都	(株)サンテック	藤木 陽一	取締役社長
13	京都	清水長金属工業(株)	山本 剛史	専務取締役
14	京都	(株)ハイビック平田	杉江 秀生	代表取締役

	組合	会社名	氏名	役職
15	京都	源鍍金工業(株)	松本 源志朗	営業部
16	大阪	(株)センショー	堀内 麻祐子	代表取締役
17	大阪	日本電鍍工業(株)	寺内 亮一	代表取締役
18	兵庫	近畿防蝕(株)	古塚 恵太郎	代表取締役
19	兵庫	(株)白浜工業所	大西 真輔	専務取締役
20	兵庫	(株)阪神鍍金精工所	樽谷 耕一	取締役工場長
21	兵庫	フソー(株)	村田 敏一	総務部次長
22	兵庫	マルイ鍍金工業(株)	井田 統章	取締役専務
23	中国	(株)エフテックス	藤田 翼	取締役
24	九州	(株)九トク	中山 淳	次長
25	九州	(株)深田ハードクローム	深田 博智	工場長
	特別参加	(株)サーテック永田	永田 晋也	代表取締役
	特別参加	(株)小林工業所	小林 明洋	代表取締役
	全国鍍金工業組合連合会		森脇 隆	経営担当副会長
	全国鍍金工業組合連合会		薄衣 敏則	経営委員長
	全国鍍金工業組合連合会		清水 篤人	専務理事

■はじめに

研修会に先立ち、フジコー様のご厚意により、工場見学を行いました。見学後にフジコーオリジナル会社概要DVDを上映した後、藤井会長による講演会に入りました。



工場見学の様子（中央:藤井代表取締役社長）



藤井代表取締役会長

がありました。

大学4年生の時、当時私は卒業後他の会社で働きたいと考えておりました。ところが当時会社は人手不足に陥っていました。父に進路について相談したところ、父は一言も私に「帰ってこい」と言わなかったのを覚えています。ところが母より「本当は帰ってきてもらいたいけど、弱音になるから言っていないだけ。(父の)気持ちを理解してあげてほしい」と打ち明けられ、会社に入ることを決意しました。昭和41年、大学卒業後に会社に入社し、ちょうど高校卒業した弟も同時に入社しました。元々4、5人程度の会社に若い2人も加わったわけですから、急激に会社が忙しくなるわけですね。当時休日がないほど、精一杯働きました。

■講演「人生の未来を成功に導く羅針盤」

●はじめに

本日は東北から九州まで、遠いところからお越し頂きありがとうございます。人は「後ろのこと（これまでの人生の経験）を前に持っていく（未来に活かす）にはどうしたらよいか」と考えるものですが、私は学校を卒業してから50年間めっき業に携わって参りました。今日は過去の私の体験談を、参考になるか分かりませんが、皆さんのこれからの経営と人生に役立てて頂ければと思っております。

●会社に入る決意

昭和33年、私がまだ学生だった頃に、藤井硬質鍍金工業所として父（藤井幸四郎氏）が操業を始めました。当時は父一人で経営するような小さな規模でしたが、私も手伝うこと

●社長就任そして父の他界

私が社長を継いでから3年ほど経った昭和61年、父が70歳で他界しました。原因はタバコで、突然心筋梗塞を起こし亡くなりました。前日まで元気になっていたため私にとって大変ショックな出来事でした。ところで先ほど喫煙所で何名か喫煙されていたのを見かけましたが、皆さんもどうかタバコには気をつ

けて頂きたいと思います。

●めつき業界・地域的な活動への参加

一旦ここで社外でのお話になりますが、私は平成6年頃からめつき業界の活動に参加させて頂くようになり、平成12年から16年間、兵庫県鍍金工業組合の理事長を務めさせて頂きました。その他地元の商工会議所、ロータリークラブ等、地域的な活動にも参画させて頂きました。平成26年秋には、兵庫県並びに経済産業省の推薦で旭日双光章を受章し、わが社の宝物としております。どうぞここにいる若い皆さんにも、受章のチャンスはありますので、是非頑張ってくださいと思います。

それから業界への活動については、若い皆さんも積極的に参加された方がいいですね。私は佐和元理事長のおかげで若いときから多くの機会を与えて頂き、全国レベルで多くの方と知り合うことが出来ました。こうした人脈は絶対にマイナスになりません。これは是非全鍍連のためにもお願いしたいと思います。

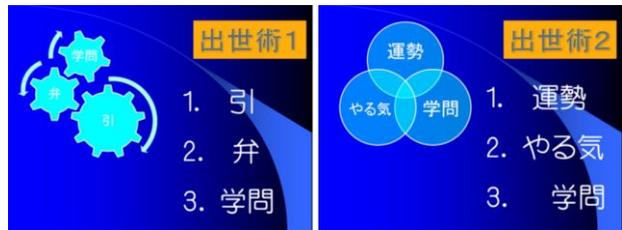


講演会の様子

●私の考える出世術について

さてここで私の考える出世術をご紹介します。私は①引、②弁、③学問という3つ

の要素が重要であると考えています。まず「引」の意味は、引き立ててくださる方、すなわち我々にとっては得意先の方々です。次に「弁」ですが、思ったことを的確に伝えることができる能力。つまり報告書等の作成や交渉能力に優れているということです。そして「学問」は学歴です。学歴は3番目でいいのです。かの田中角栄も中卒で総理大臣になりました。ですから、まずは自分を引き立ててくれる方を大事にされることが大切です。



出世術（プレゼンテーション資料より）

●運勢の考え方

2つ目の出世術をご紹介します。こちらは①運勢、②やる気、③学問といった要素になります。やる気よりも運勢が上に来ます。もちろんやる気がない人は何しても成功しませんが、運勢のいい人は必ず上に行くと思っています。

私はこの50年間この「運勢」を重視し、どのように運勢を見極めるかを考え、経営の拠り所の一つとして参りました。具体的には、中国4000年の歴史を持つ「四柱推命」を1つの軸として経営判断を行って参りました。これは先代（父）もそう考えておりましたので、その影響を受けています。四柱推命は生年月日からその人の運勢を推察するものですが、経験的に80~90%は当たっているかと私は考えています。皆さんも投資など何か大きな決断をされる時、深く悩むこともあるでしょ

う。そうした決断の際、何かを頼りにできることは心理的に大事なことだと思います。もちろん信じる信じないご意見があろうかと思いますが、興味のある方は参考にされてはと思います。

●四柱推命にまつわるエピソード

ここでこれまでの経験から、四柱推命にまつわる具体的なエピソードをいくつかご紹介したいと思います。

《1.採用は四柱推命頼み》

弊社の採用は、履歴書の内容そのものよりも、そこに書かれた生年月日からその人が会社にフィットするか否かを最も重視しています。この方法で全スタッフ（80名ほど）採用してきましたが、おかげで離職が比較的少なくほぼ100%成功しているといえます。

《2.阪神大震災直前の設備投資》

平成6年4月頃、年内に設備投資を完成させておいたほうがいいとの助言を頂き、当初4年後に計画していた設備投資を年内に無理やり完了させました。その翌年1月に阪神大震災が発生。県内他地域から仕事が大量に回ってくることになりました。その後仕事は一旦お返ししたものの事業から撤退され、以後当社にて受注を頂くことになりました。

《3.人の^{まんぢ}で相撲を取るような運勢》

48歳の時、四柱推命の先生より「将来人の^{まんぢ}で相撲を取るような運勢を持っている」と指摘されたことがありました。そこから12年後の平成14年（60歳）、区画整理により当時河口付近にあった会社の移転を余儀なくされ、10億程の移転料を頂くこととなりました。さらに「そのお金を更に投資に回せば、今後人生を闊歩することが出来る」と助言を頂き、

移転料を元手に更なる設備投資を行いました。

《4.唯一の失敗》

66歳の時、印刷用ロールの銅めっきのお話があり、先生に相談したところ「効果がないと思いますが・・・」と言われたことがありました。大変関心のあったお仕事だったので助言を無視したまま、1億円を投じ設備が完成させました。すると完成した途端、仕事の話が立ち消えになり、5年間毎月120万円のリースを払い続ける羽目になりました。四柱推命に従わず設備投資を行った結果失敗に終わった唯一の事例です。

●タイミングを見極め、積極果敢な投資を

このように、これまで私は四柱推命を軸に経営判断、設備投資を行って参りました。もちろん最後に大事なのがご自分の決断です。もちろん皆さんが四柱推命を信じる必要はありません。ただしご自身で確信を持って、「ここぞ」というタイミングで大胆な投資に踏み切る勇氣は必要です。今後皆さんには自分なりの「拠り所」を頼りにしながら、積極的な経営に努めて頂きたいと思います。

■意見交換会の概要

Q1. これまでのエピソード以外で、例えば新規の開発など四柱推命が役立った事例等があれば教えてください。

A1. 開発に関してお話すると社長のとき私も開発に携わっていましたが、四柱推命に頼ることはありませんでした。こればかりは自分で薬品を混ぜながら試行錯誤していました。行き詰った時は、(めっき業界の)全国の知り合いの皆さんに相談させてもらっていました。



質疑の様子

Q2. 社長就任後3年目で突然お父様が亡くなれたそうですが、差しつかなければその時のご苦勞をお伺いしたいのですが。

A2. 大学卒業後父とともに仕事をするようになるのですが、親子ですのでよく対立していました。ある日私が「1円でも儲かったら自分のやり方でやらせてほしい。そのかわり1円でも損をしたら完全に父のやり方に従う」と父と約束したことがありました。その結果、儲けをきちんと出しまして、それから今に至るまで一応儲かっています(笑)。このように父が亡くなる前から既に、自分で仕事をしたいという強い願望がありましたし、また昔から自分で社内の経費等も把握していたので、亡くなってから仕事上の苦勞は特にありませんでした。

Q3. 普段の業務で藤井会長と社長とで意見が割れたりすることはありますか。

A3. 弊社の場合、意見が分かれば基本的に社長の判断を優先にしています。まあ実権は社長が握ってますから(笑)。でも私と社長どっちつかずのアイデアであったりすれば、結局私の方が運がいいわけですから、私の意見で進めることになりませんか(笑)。皆さん

の会社でも執行部で意見が割れた場合は、それこそ(四柱推命等の)先生に意見を委ねるのも1つの方法です。

■おわりに(事務局より)



大経営者が「四柱推命」や「運」を説く言わば「異色」な講演会となりましたが、運を見方につけた実行力・判断力こそが最大の経営パフォーマンスを生み出すものだ痛切に感じた1時間でした。もちろん藤井会長に人柄・人脈・ご努力が備わっていたからこそ、こうした「運」が最大限引き出されたことは疑いようありません。

この度、講師を引き受けて頂いた藤井会長をはじめ、工場見学を含め全面的にご協力頂きましたフジコー様全スタッフの皆様にご場を借りて心よりお礼を申し上げます。

藤井正隆氏プロフィール



昭和17年10月21日に兵庫県神戸市須磨区にて創業者の藤井幸四郎様のご長男としてお生まれになる。大学卒業後、藤井硬質鍍金工業所(現フジコー)に昭和41年4月に入社、昭和58年3月に代表取締役役に就任される。平成26年4月より代表取締役会長に就任され事業を承継された。また兵庫県鍍金工業組合においては、平成12年より16年間、理事長として組合活動を牽引された。平成26年11月に旭日双光章を受章。現在全鍍連顧問・組合顧問。73歳。

フジコー株式会社ホームページ：

<http://www.fujikome.net/>